

# わくわく園庭日記

蒲幼稚園 No.11 R 2, 12, 25

楽しく遊んで、学びがいっぱい！

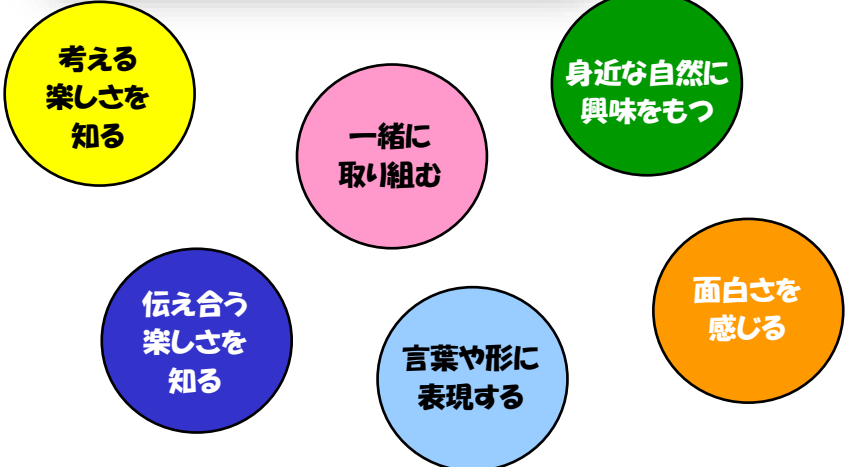
霜が降りるほど冷え込んだ先週、さすがの子どもたちも「寒～い」と身を縮ませて登園してきました。しかし、園庭で見つけた霜や氷におおはしゃぎ。数分後には、支度を済ませて部屋から飛び出してきました。鬼ごっこ、サッカー、縄跳びなどの体を動かす遊びが盛んに行われる一方で、竹とんぼにも興味をもった子どもたち。以前、竹馬を作ってくれたおじいちゃん（白石さん）が、今度は竹とんぼを作ってくれたのです。一本一本丁寧に、そして精巧に作られていて、子どもたちのためにどれだけの時間を割いてくださったのか考えると、本当に頭が下がります。人とのつながりが希薄化していく現在、このように子どもの遊びを通じて家庭とのつながりが持てたことを嬉しく思っています。そして、今後より多くの家庭と繋がるきっかけにしたいと考えています。



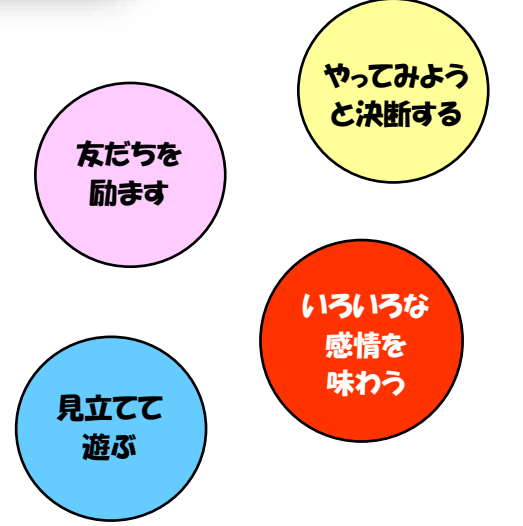
丸太を運んできて、秘密基地を作っていました。「こっちは台所で、こっちは庭ね。あっ畑でもいいかも？」友だちと思いを出し合い、使えそうなものを集めてきて、その場を構成していきました。子どもたちにとっては、ドキドキワクワクする空間になったようです。このような経験、私たちにもありますよね？



友だちがやっていることに興味を持ち、やってみようと思いますが、実際にやってみるまでには、様々な心の動きがあります。友だちに励まされ、また友だちもどうしたらできるようになるのかなと考え、できた時には一緒になって喜び。そんなやりとりで、互いに育ち合うことの意味を感じます。



吊り橋を下に下ろしたことで、新たな遊びを思いつき、それを友だちに伝えて楽しく遊び始めました。両端からやってきて出会ったところで「じゃんけんぽん！」公園で見かけるような遊び方が決まっている遊具ではなく、このように子どもが遊びを思いつき、変化させていくことができる、そんな環境を作りたいと思っています。この遊びの前には、木琴に見立てて「ドレミファソ」と歌いながら遊ぶ姿が見られました♪



## 園庭で遊ぶということ

こうしてみると、いろいろな力が総合的に養われていることが分かります。外遊びというと体を動かして遊ぶことを中心に捉えがちですが、人とかかわりや表現すること、社会のルールを学んだり、興味関心を広げたり、思考錯誤したりするきっかけがたくさんあるということを子どもたちから教えてもらいました。これらは、十分に遊び込んだ時にこそ得ることができます。蒲幼稚園では、子ども自身が気付いたり感じたり伝え合ったりすることを大切にする保育を行っていきたいと考えています。

この冬休みも園庭整備に取り組みます。遊びを通して人と関わること、自分と向き合うことこそが、これからいろいろな知識や技術を身に付けていく子どもたちにとって、重要な経験になると考えているからです。

今年の年末年始は、いつもとは違う過ごし方になるでしょう。一番身近な家族との触れ合いを豊かに、人と関わること、思いを伝え合うこと、共に生活することを十分に味わえるお休みになるといいですね。ちょっと子どもの遊びに付き合って、ちょっと大人の仕事を手伝って…。どうぞ皆さま良いお年をお迎えください。